



佐賀県伊万里市立 南波多郷学館

個別最適化された学習の実践

～校内で活用を習慣化し、個別最適化を促す～

義務教育学校伊万里市立南波多郷学館は、『ふるさとを愛し、夢・志をもつ児童生徒の育成』を学校教育目標に掲げ、ICTを活用した様々な取り組みを行っています。今回は、朝学習と授業で活用している、eライブラリの実践をご紹介します。

朝学習を週1回、「ラインズタイム」に



▲ 各自が黙々とドリルに取り組んでいます

毎週水曜日の朝学習を「ラインズタイム」と設定し、1～9年生の全児童・生徒が一齐に各自の端末を持って eライブラリに取り組みます。7年生では児玉先生の「ホーム画面を開いて」の声掛けとともに自主学習がスタートし、黙々とドリルに取り組んでいました。eライブラリに取り組む時間が毎週確保されているため子どもたちも操作に慣れており、ログイン操作につまずく様子もなくスムーズに学習を行っていました。

「おすすめ学習」を用いて、個別最適化された学習を実践



▲ 画面に表示されるおすすめの教材を選択します

週1回の「ラインズタイム」では、eライブラリの「おすすめ学習」を活用し、個々に合った教材で自主学習を行っています。

子どもたちは自身の学習履歴をもとにナビゲートされた教材に取り組むことで、苦手分野の克服や得意分野の更なる学びを主体的に実施しています。学年を越えて教材が表示されるため、前の学年の学び直しも可能です。自分専用の教材となっているため、子どもたちは自身の学習に集中して取り組んでいました。

インタビュー

個別最適化された教材で、学力の向上を

eライブラリは個別最適化された教材で学習ができるため、子どもたちが自分の苦手分野を早い段階で見つけることが可能です。また、校内での活用差を無くすため、週1回の朝学習にeライブラリを使う時間を設けました。**週1回の利用を習慣化することで、子どもたち及び教員もeライブラリの操作に慣れ、今では授業内の振り返りやテスト前の自学時間など、校内で使用する頻度も増加**しています。今後は夏休みの課題や週末課題といった家庭学習の一環として活用することで子どもたちの意欲的な学びを促し、更なる学力向上につながると期待しています。



情報担当
児玉 和城 先生

手軽に高校入試過去問での演習を



▲先生のヒントを聞きながら問題に取り組みます

理科 9年：運動とエネルギー

ねらい 単元のまとめとして入試問題に挑戦

この日の授業では単元のまとめとして、既習内容が含まれる高校入試の過去問を配布し、班ごとに協力しながら取り組みました。「プリント教材」の高校入試過去問データベースでは、全国の入試問題から条件にあった問題を検索することが可能です。児玉先生は「単元ごとの検索も出来るので、挑戦問題として入試問題を7年生・8年生にも取り組ませている」とお話しされていました。

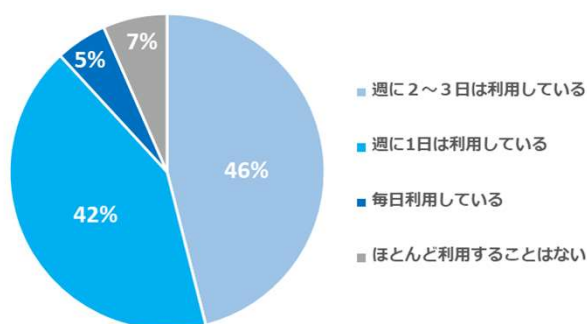
先生の工夫

- 単元のまとめとして入試問題を配ることで、日頃から入試対策を行っている。
- データベース内で検索し「よく出る」問題から厳選して問題を作成している。
- 他県の問題を解いたあとに佐賀県の問題を配布し、より身近な出題例を示している。

eライブラリの実践アンケート結果

対象生徒：5年生～9年生 76名
※アンケートの一部項目を掲載しています。

授業や学級活動の中でeライブラリをどの程度利用していますか



子どもたちの感想

- 解答解説が詳しく書いてあるのがいい。
- テスト勉強する際に取り組んでいる。
- テスト中に学習した内容が出てきた。これからも取り組んでいきたい。
- イラストの芽がどんどん大きくなっていて自分がどれだけ勉強が出来たのか実感できる。

インタビュー

主体的な学びで基礎・基本の定着を

本校では、「私たちの南波多郷学館は、私たちが創る」をモットーに、児童・生徒、教職員が主体となって議論しながら学校づくりを行っています。

eライブラリは個々の理解度に応じて教材が表示されるため、**一人ひとりの実態に合った課題を主体的に取り組むことが可能**です。簡単な操作性も子どもたちの意欲的な取り組みに繋がっています。また、本校では教職員間での活用差を無くすため、朝学習での「ラインズタイム」を習慣化させています。情報担当の先生がリーダーシップを取ることで校内の活用も整備されつつあると感じています。

今後は校内研究のテーマである、「思考力や表現力を高める授業実践」に基礎・基本の定着としてeライブラリを用いることで、教職員が効果を実感し、活用が更に深まることを期待しています。



校長
中尾 聡彦 先生